

登録コード	E2530900	開講年度	2026			
授業科目	彫塑演習				担当教員	猪瀬 昌延
英文授業名	Seminar in Sculpture				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生
講義室	教育N 1 1 0		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				美術教育の重要性と可能性を理解し、立体造形に関わる用具の的確な使用方法を身に付けるとともに、扱う素材の特性と魅力を十分に活かした指導ができるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				彫刻表現における基本素材と技法の理解ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	可塑性を用いた制作を通して、充実したフォルムの理解とその造形性を把握し自らの表現に活かすとともに、立体造形及び彫刻表現の芸術的意義を模索する。また、塑造表現の基本的技法を習得するとともに、実材への展開によって得ることのできる表現を追求し、立体表現を考察する。制作した作品は展示を目指した仕上げを行う。					
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス（テラコッタの技法紹介）と素材の準備 第 2 回：制作（塑造） スケッチ及びドローイング 第 3 回：試作（マケット制作） 第 4 回：本制作 技法の選択 第 5 回：本制作 芯棒制作又は輪積みでの制作 第 6 回：構造と粗密の関係 第 7 回：仕上げと試作の焼成 第 8 回：石膏取り 雌型制作（肌打ちと厚み付け） 第 9 回：雌型制作（開型と掻き出し） 第10回：雄型制作（張り込み） 第11回：雄型制作（割り出し） 第12回：修正と細部の仕上げ 第13回：焼成・着色とその効果 第14回：仕上げと講評（授業アンケート） 作品提出 教育実習で欠席は、別途補講を行う。 状況に応じて集中授業になる事がある。					
(6)成績評価の方法	課題作品の評価（80％）、授業への取り組みや学習状況20％を含め評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	（ ）授業で示した用具及び素材の加工が適切であり、（ ）素材やその技法を効果的に生かし、（ ）基礎的造形性の把握ができており、（ ）その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し（ ）作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	前授業行った制作の続きと次授業までの制作到達目標の指示に従い、制作を進めてから授業に臨むこと。各回授業内に次授業で必要となる用具や素材の準備等に関して説明を行う。					
(9)履修上の注意	制作において作業に適した服装と材料費が必要となる。 修学状況に応じて授業時間外での制作が必要となる。 授業の進み具合に応じて集中授業に置き換えることがある。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室 北校舎N112, 連絡先 minose@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	特になし					
【参考文献】	「彫刻をつくる」建畠覚造ほか 美術出版（2400円） 「彫塑」岩野勇三 日貿出版（4000円） 「塑造への誘い」工藤健 多摩美術大学共同研究（10500円） その他作品集や技法書など随時紹介する。					